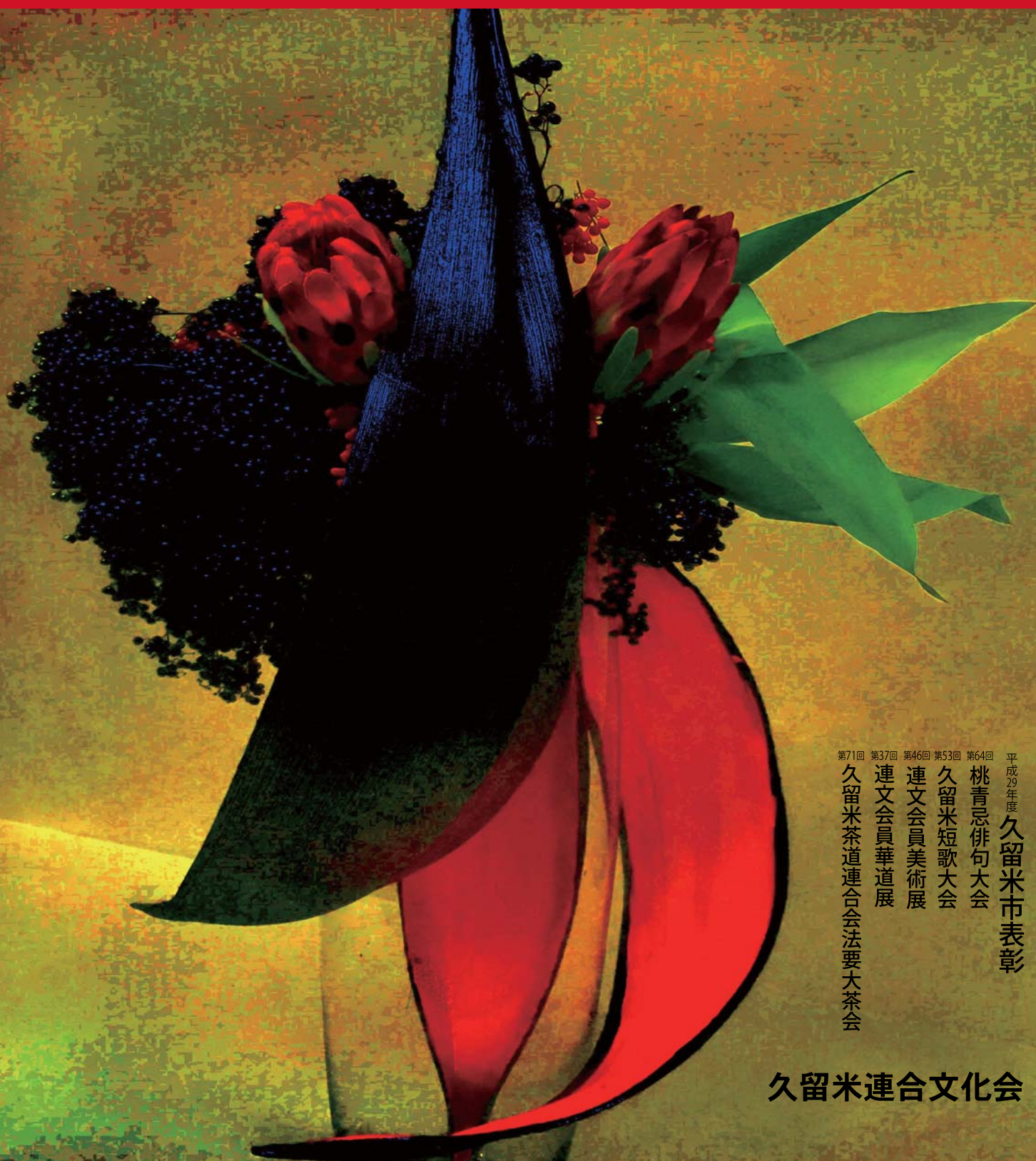


連文

R E N B U N



Vol. **104**
2018.1



平成29年度 久留米市表彰
第64回 桃青忌俳句大会
第53回 久留米短歌大会
第46回 連文会員美術展
第37回 連文会員華道展
第71回 久留米茶道連合会法要大茶会

久留米連合文化会

明けましておめでとーございます

平成29年度 久留米市表彰

11月3日(文化の日)市の表彰式が行われました。連文会員で受賞された皆さんをご紹介します。

久留米市功労者

文化振興、社会福祉の増進など、市の振興発展に寄与した人が表彰されました。

■茶道部 草場 玲子



茶道裏千家名譽師 範・昭和30年銀行勤務の傍ら裏千家久留米支部創立者故堀内

宗喜師に入門。以来50数年茶道の精神和敬清寂に導かれ今日に至る。社中指導と共に平成元年より23年間県立福島高校で正科に採用された茶道の指導。平成18年より久留米茶道連合会法要大茶会の世話役。海外茶道紹介として平成8年米モデスト市短期留学生茶道体験指導。同27年中国合肥市文化交流団員として野点披露。周囲の全ての皆様の御指導ご協力に感謝の毎日です。

芸術奨励賞

芸術分野で今後の活躍が期待される人に贈られました。

■洋楽部 北嶋 季之



平成6年に武蔵野音楽大学大学院を修了後、地元久留米に戻り、演奏活動を行う。

平成11年には、所属している久留米連合文化会において久留米連合文化会賞を受賞し、平成29年久留米市芸術奨励賞を受賞。

現在、東筑紫短期大学にて教鞭を執りながら、県内外の様々なコンサートやリサイタルのソリスト・デュエットオペラなど多数出演している。

■邦楽部 みやざき 都



久留米市出身、中村雅楽美師に入門。箏、地唄三絃を吉崎克彦に、25絃箏を野

坂恵子に師事。

第2回、第3回賢順記念全国箏曲コンクールにて2年連続奨励賞受賞。久留米連合文化会賞受賞。ソロ活動の他、様々な洋楽器とのコラボレーションで、邦楽にとどまらず、幅広いレパートリーで新しい音楽的表現に取り組んでいる。

2016年、デュオDIVAでCD「夜想曲」をリリース。2003年から10年にわたり筑紫女学園高等学校箏曲部講師をつとめる。

現在、福岡と小郡にてみやざき都箏・三絃教室主宰。

第71回 久留米茶道連合会大茶会

(法要茶会)

11月12日(日)



梅林寺における物故会員の施餓鬼法要。早朝からの法要にもかかわらず多勢のお参りをいただき感謝ひとしおでした。続いて各流それぞれの茶席で心からの一碗を供しました。晴天に恵まれ稟と澄んだ早朝の茶会。500名を越す参加者で大盛会でした。(茶道部・草場 宗玲)

日本舞踊部ワークショップ

着付けと日本舞踊

10月9日(祝)



久留米シティプラザ和室にて、着付けと日本舞踊の講座を開催しました。若い方からご年配の方まで25名の受講者で、会場は一杯になりました。まずは、きちんと指導を受けながら着付けをして、美しい姿勢や

挨拶の仕方を学び、日本舞踊の代表的な表現について見ていただいた後、『京の四季』の春の部分を、みんなで踊ってみました。参加していただいた方々に、日本の伝統芸能である日本舞踊の魅力を、感じて興味を持っていたただけたなら嬉しく思います。(日本舞踊部・藤間 勘志龍)

第25回ふくおか県民文化祭2017
第17回福岡県ねりんスポーツ・文化祭

北ブロック

古典芸能祭 in あさくら

日本舞踊・謡曲・箏曲・尺八・三味線

11月12日(日)、朝倉市総合市民センター・大ホール(ピーポット甘木)にて開催しました。日本舞踊部、謡曲部、民謡部が出演しました。(広報委員会)



第46回 連文会会員美術展について

合肥市の交流作品展示

本年の特徴としては合肥市の交流作品の展示であろう。

合肥市は1980年5月久留米市と友好都市締結をしている。当時の人口は250万といわれていたので現在の750万人は三倍増となり驚異的である。2000年には浦園会長をはじめ訪問団を派遣し記念美術館へ連文会員の作品42点を贈呈している。

今回は美術館落成25周年記念事業に合わせ久留米市総合美術展共催事業となった。10月10日、市展飾付の日、合肥市の美術家ほか在福の領事館員、通訳を含め6名の来館であった。作品10点は丸めて筒に入られ無造作に運び込まれた。早速、用意されていたロビー壁面にピン止めと云う簡易な展示となった。時間など余裕があれば額装による展示が望まれた。それ



美術部門副会長 井口 益次



でも流星、紙と筆については長大な歴史を持つ中国だけに伝統と深遠さを感じさせる作品群であった。

翌11日、市展初日には市の国際交流課長、連文会員も交えて記念撮影を行った。10時頃より会場控え室で合肥市作家によるデモストレーションが行われた。30年程前に久留米日中友好協会の合肥市訪問に参加したことがあり、近親感も手伝って揮毫を所望することにした。再来年の連文創立70周年に因み、孔子の論語「七十而從心所欲不踰矩」の一節をお願いした。現在、連文事務所に額装し掲げています。

総合文化の時代

2017年3月に教職を退職してあらためて私の立つ場所を考えさせられた。きっかけは久留米・モデスト市友好都市締結25周年記念訪問団での交流である。

モデスト市の子供たちが絵筆をとり漢字や仮名を書く。久留米紺の着物を着て友達と談笑する。慣れない手つきで箏、三味線、三絃の演奏を試みる。生活様式や言語の違う人間が文化という一つの領域で遊びを共有したのである。そこには作品の上手、下手はない。稚拙な技術であっても感動する作品は沢山はあり、そこには、人間が生まれながらにして持っている表現したいという心が存在した。

私達は上手いか下手かで作品を色分けしていないか、展覧会の入落で一喜一憂していないか、先生の曇った眼鏡の価値判断で作品を見ていないか、常に自分に問いかけて書の道に精進したいものである。

自分の人間性を磨くこと、それが立派な書を完成させる唯一の方法かもしれないのだから。

私事ではあるが昨年6月に書道部から総合文化部門に移籍した。

「生活も芸術である」と川端康成は書いている。便利になってきているが、われわれ人間の基本生活は変わることな

く、一日二四時間である。生活は便利になったが、人間の持つ生活文化に対する追及は変わらない。しかし、既存の文化だけでは対応できなくなっている。

食文化、庶民文化、地域文化、カラオケ文化などという言葉も普及してきている。舞踏と言われたダンスもモダンダンス、サマダンダンス、盆踊り、YOSAKOI、ベリーダンス、社交ダンス、チアダンス、ブレイクダンスさまざまである。また、太鼓文化や、音楽でもクラシックのほかにシャンソンもある。絵手紙もカルチャーセンターの中では人気の講座である。視点を変えれば、それだけ文化が人々の生活の中に入ってきているのである。

連文もこの文化の時代変化に対応せざるを得なくなっている。書文化も、既存の「漢字」と「かな」のほかに漢字仮名交じりの書が高校芸術科書道教科の指導要領の中で、必修単位となっている。時代とともにさまざまな文化が湧き起こっているのである。この文化活動を包括していくのが総合文化部門である。これから先の私の文化活動を、この総合文化部門に捧げたいと思っている。

(総合文化部 企画運営委員・諸石祥雲)

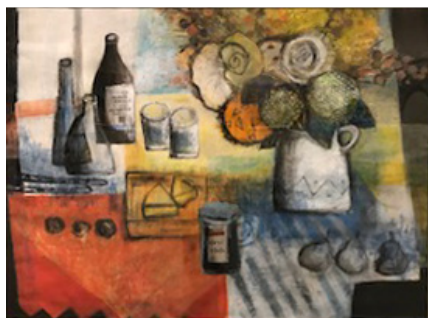


連文会員美術展会員賞

会期「1期」 10月11日(水)～15日(日) 彫刻・書道・デザイン

「2期」 10月18日(水)～22日(日) 洋画・工芸

「3期」 10月25日(水)～29日(日) 日本画・水墨画・写真



洋画「窓辺」
佐藤 小枝子 (久留米市)



洋画「My view」
井手 元子 (久留米市)



水墨画「秋の風」
今井 千浪 (八女市)



日本画「六百歳・麗し!」
古賀 節子 (久留米市)



デザイン「咲かせよう、ふたたび」
龍 由美子 (大川市)



工芸「彩泥彫文鉢」
倉富 政憲 (うきは市)



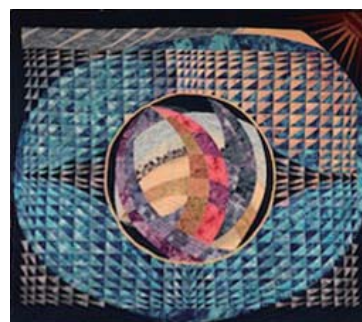
写真「漣」
仲 富士登 (久留米市)



写真「Muddy Lover」
森山 峰熙 (大木町)



書道「竹裏琴」
今里 無涯 (八女市)



工芸「平和を願って」
山中 玲子 (基山町)



書道「山家集」
賀村 景月 (久留米市)



彫刻「母の思い出」
元田 典利 (八女市)

「書の歩み六十年」

森史陽傘寿記念書展

併催・書の形展Ⅱ・森翠園・森哲之・森麻衣

2017年8月11日(金)～16日(水) 於久留米シティプラザ展示室

書に親しみ60年余り、多様な書表現による創造の世界を追い求めた森史陽氏の傘寿を記念する書展が催された。

高校時代に書の道に出会い、大学時代に書を学び、30代には篆刻、篆書を追求め、その後他の書体や漢字仮名交じりの書など表現領域を広げてきた。60代以降は「書のかたち」を見つけ、書体・書風に拘らない「書」に自由を謳いこんでいるかのようである。

齢80となり満を持して中国殷時代の遺跡から出土する漢字原初形態の甲骨文字による特大の「龍虎」(300*320)ほか、書の原点や可能性に挑み、八十代の新たな一歩を踏み出している。

森翠園氏が描く着物・帯、貝合わせ、かるた、灯り、折帖に描かれた仮名書は、まさにエロソー色の世界である。

その中にあり自詠句・みわたせばながれはるけしうろこ雲／ふるさとの山なつかしきすすきの穂／もりの宮いらか遠くのもみじせり／療養に人にすすきを今日の月・は山王さんと親しまれた仁比山神社の苔むした

石段を思い起こさせる。

森哲之氏の書く「土砂」。復興への願いや思いを込めて書かれた規則正しく羅列する十二の「土砂」の重層の中に何かの恵を求めているのだろうか。

「文字と空間の調和」のなかに響くアートを、書のかたちにたずねている森麻衣氏の人文字「知之一字衆妙之門」。最後に描かれた「門」は何処までも広がりをもせるこれからの四人の「書の協奏」の入り口を暗示しているのだろう。

(広報委員会)



エントランスロビーの華やかさをくぐり入口ドアを開けるとオーケストラ・コンセルエクラタン福岡の輝かしいチューニングの音に飲み込まれる。ステージ前に穿たれたグラインドホール開業以来のオーケストラピット。

パンフレットを開く。今夜はクリスマスイブです。バレリーナを夢見る子供たちは、今日もバレエ学校に通います。バレエが大好きな少女の一日はスタジオのお掃除から始まります。少女は誰よりも早くスト

フジタバレエ研究所・第33回バレエリサイタル

「少女の夢」——くるみ割り人形全幕

2017年12月24日(日) 於久留米シティプラザ ザ・グランドホール

レッチを始めて、誰よりも遅くまで自主レッスンをして一日が終わります。この少女の夢は、金平糖の踊りを素敵な王子様と踊る事です。いつの日か、クリスマス夢は叶うのでしょうか。クリスマススイブの夜に「くるみ割り人形」をオーケストラと競演したいという主宰藤田美知子氏の夢が叶った瞬間だった。

中島周氏演出振付による「くるみ割り人形」はバレエ教室から始まり、レッスンに励む一人の少女の夢として進行する。「花のワルツ」をはじめ

「金平糖の踊り」「行進曲」などチャイコフスキー三大バレエの中でもひととき楽しく親しみやすいのが「くるみ割り人形」。ネズミと兵隊を演じ、ギョーニョおばさんの落下傘スカートから飛び出すキャンディーになった子供たち。生徒、お菓子の国、花のワルツを華麗に踊る少女たち。高く飛び開脚し、ぶ



れることなくまわり踊る王子(秋元康臣)と金平糖の精(藤田瑠理子)のグラ・ン・パ・ド・ドウ。

雪の精のコール・ド・バレエのなか、歩き始めたばかりの幼女と手をつなぐ少女。そして記憶の断片に焼き付けられたその二人が、きつと次の時代の夢を叶える先駆けになつていくのだと思つた。

(広報委員会)

第64回 桃青忌俳句大会

11月23日(祝)、
御井校区コミュニティセンターにて開催いたしました。晴天の忌日となりました。

特選句(◎)と佳作は次の通りです。



黒田充女選

◎顧みること多かりし翁の忌

谷川 章子

準備することも供養や桃青忌

大坪 久美枝

今日一と日句友と修す桃青忌

宮崎 みゆき

谷川 章子選

◎何見ても今日は芭蕉忌なる一と日

野口 桂子

時雨雲仰ぎしぐれ忌ごころかな

矢野 愛子

洗車する紅葉の山を走らんと

野口 桂子

大坪 久美枝選

◎何見ても今日は芭蕉忌なる一と日

野口 桂子

芭蕉忌や山路に入れば旅心

谷川 章子

蓑笠の行脚を思ふ芭蕉の忌

野口 桂子

(俳句部・大坪久美枝)

第25回ふくおか県民文化祭2017
第17回福岡県ねりんスポーツ・文化祭短歌交流会

第53回 久留米短歌大会

10月14日(土)、久留米シティプラザ・久留米座にて、県民文化祭短歌大会・県ねりんスポーツ・文化祭短歌交流大会合同により開催。897種に及ぶ作品の応募は、連文短歌部が底力を発揮したものと自負している。若手歌人のホープ小島なお先生の爽やかな講演「短歌の窓」と歌評が満場の短歌愛好者を魅了した。

◎福岡県知事賞

一年の老いを重ねて年一度靴をさげてくる調律師 春日市 間千都子

◎ふくおか県民文化祭実行委員会会長賞

パンダナの妻は赤猪子若菜摘む手足を春の泥に汚して 北九州市 中村重義

◎福岡県年輪スポーツ・文化祭大会会長賞

限られし昼休みなりいとし子に母乳やらむと車走らす 朝倉市 吉田喜久子

◎福岡県教育委員会賞

流星群ながるる音に響きたり銀の鍵束手より零れて うきは市 権藤久美子

◎福岡県文化団体連合会会長賞

ちちははの家は丈夫に建ちつづけ解かるる前のしづかな柱 筑後市 井寺容子

◎久留米市長賞

パツキパキぎくぎくぶちり春告げて振やかなるよ野菜の声は 八女市 倉員世紀子

◎久留米市教育委員会賞

五回目も母の話を聞いている相槌の位置少し変えつつ 北九州市 吉村君代

◎久留米連合文化会賞

回遊の魚のやうに八月の空をいづこをたましひの群れ 八女郡 山下整子

◎福岡県歌人協会会長賞

顔を突き出し仰ぐ樗の木おぼろなる花霞の如き 久留米市 佐々木とみ

◎福岡県ねりんスポーツ・文化祭高齢者賞(男性)

親戚は嬉しい時こそ集いたし義姉の白寿は一門挙げて 福岡市 小松正隆

(女性)

花の季に十四人目の曾孫生ま永く生きぬる喜び深し 朝倉市 岩本光子

(短歌部・栗林喜美子)

2017・筑後・詩の集い

「詩の朗読・詩のお話」

平成29年11月19日(日)午後1時半より、えーるピア久留米において、福岡県詩人会との共催による、詩の集いを開催した。参加者は35名であった。司会は詩人会の犬童さん。第一部は詩の朗読。会員から、緒方和美、森光晴子、山本源太が参加、詩人会から5名、さらに飛び入り参加が3名。朗読は筑後地区としては初めての試みであったが、活字で読む詩を耳で聞いた場合、また、朗読を作者以外の人がした場合、作品はどのように変化するだろうか、さらに音楽や効果音を加われば、朗読に関する関心は無限に広がるのではないかと感じた。

第二部は詩のお話。岡田哲也氏に講演をお願いした。岡田氏は鹿児島県出水市生まれ、詩集、エッセイ他著書多数。現在、西日本新聞紙上で詩時評を担当されている。ことばのふるさと、心のふるさと、という演題のもと、詩人自らの朗読について時間を割かれた。難解な言葉も、平易な言葉も、朗読することにより、相手に、より言葉が通じやすくなるのではないかと、いわれたことが印象的であった。

(詩部・緒方和美)



第2回 久留米ジュニア文芸大会

表彰式

11月5日(日)、久留米市役所くるみホールで開催しました。

短詩型文芸作品(詩・短歌・俳句・川柳)を小・中・高校生から募集し、1285点の応募がありました。

表彰式では特選9人、入選28人に賞状と賞品を渡し盛会でした。

(川柳部・堤日出緒／短歌部・堀江英毅)

第37回 連文会員華道展

今年の華展も、岩田屋新館4階で、前期9月6日(水)から3日間、9月9日(土)ら3日間、会員84名、11流派でそれぞれの作品を出瓶いたしました。

見学に来ていただいたお客様も、3000名を越え私達会員も大変喜んでおります。来場者のみなさんからは、「やすらぎます。」「気持ち落ちつきます。」などのお話をいただきうれしく思います。



ジュニアのコーナーも、好評で子どもさん達にも喜んでもらいました。

これからも、地域のみなさんが生け花を、身近なものに感じられるように、努力したいと思います。(華道部・宮原悦子)

第16回 ジュニア青木繁展

小・中・高校生を対象にした公募展。絵画の部458点、書道の部1895点の応募があり、入選入賞は絵画197点、書道953点でした。入賞の170点を10月6日(火)から久留米市庁舎3階にて展示しました。

大賞 絵画の部

久留米市立城島中学校3年

ふるかわ みさき

古川 己祥さん

彼の作品は



2年前も同じく大賞を受賞しており、近未来的な彼独特の作風は色使い、構成と更に洗練され唯一無二の存在感があり、

再び審査員の目を惹く結果となった。

(洋画部長・宇美拓哉)

大賞 書道の部

八女市立上妻小学校5年

ひらしま ちさと
平島 千聖さん

字形・線質共に正確で躍動感のある大賞にふさわしい作品です。

(書道部長・北村久峰)



五年 平島 千聖

下水道フェア呈茶席

(表千家不白流九州支部)

9月24日(日)安武南部浄化センターで下水道の役割や大切さを考えるフェスタがあり、3500人の来場者で溢れました。茶席では二百名のお客様にお茶をお出しすることが出来ました。



今回は呈茶だけではなく、お点前もと考へ、表千家不白流指導の日吉子供茶道教室(文化庁の支援金で企画している伝統文化教室)のお子さん達に手伝いをお願いしました。お子さん達が今回の経験を励みに、より茶道が好きになり、長く続けることを願っています。お茶に携わっている私達が、お子さん達を正しく指導することで、伝統文化が継承されていくことを期待した下水道フェアの茶席でした。

(茶道部・中園宗慧)

劇団PROJECTぴあ公演 「極めつけ好色おせん」

11月11日(土)・12日(日)、久留米シテイプラザCボックスにて公演しました。

作・演出／石山浩一郎

男の恋は意気地なし、女の恋は意地っ張り 井原西鶴「好色五人女巻二・樽屋おせん」を原作に女優大海恵の一人芝居というスタイルで公演が行われました。物語の進行はピアノリスト井手公による生演奏。また、ヴォーカリスト中島聖子の歌も随所に披露され、モダンな演劇作品となっていました。

公演は2日間とも満席、日曜日には入場制限をするという状況で、詰めかけた観客からは、大いに好評を得ていました。

(映画演劇部・今村好典)



【○日誌○報告】report RENBUN CALENDAR

平成29年 9月～12月

諸石祥雲「漢字のすがた・仮名のすがた」書作展	8/2(水)～31(木)・筑邦銀行本店
杉並児童合唱団久留米公演	8/8(火)・久留米シティプラザ・ザ・グランドホール
書の歩み六十年「森史陽傘寿記念書展」	8/11(金)～16(木)・久留米シティプラザ展示室
第36回創元会福岡支部展	9/6(水)～9/10(日)・久留米市美術館
第37回連文会員華道展	9/6(水)～9/11(月)・岩田屋久留米店
第30回大日本茶道学会福岡地区研修会	9/9(土)～10(日)・大濠公園日本庭園
イーハートボの劇列車(市民劇団ほとめき倶楽部)	9/16(土)～17(日)・えーるピア視聴覚ホール
第21回下水道フェア呈茶(表千家・白流九州支部)	9/24(日)・南部浄化センター
久留米吟詠道連盟第58回吟剣詩舞道大会	9/24(日)・石橋文化センター共同ホール
現代短歌入門教室	9/25(月)・城島町ふれあいセンター
第53回久留米三曲協会定期演奏会	10/1(日)・石橋文化センター共同ホール
第16回ジュニア青木繁展(絵画・書道)	10/4(水)～14(土)・久留米市役所3F廊下
日本舞踊ワークシヨップ	10/9(祝)・久留米シティプラザ和室
高良大社献茶(表千家・白流九州支部)(野点)	10/10(祝)・高良大社
第66回久留米市総合美術展	10/11(水)～29(日)・久留米市美術館
第46回連文会員美術展	10/11(水)～29(日)・久留米市美術館
第53回久留米短歌大会	10/14(土)・久留米シティプラザ久留米座
第25回ふくおか県民文化祭2017短歌大会(表彰 第17回福岡県わんぱくスポッ：文化短歌交流会)	10/15(土)・久留米市市民ギャラリー
日古神社観月茶会(裏千家・淡交会久留米支部)	10/18(水)～22(日)・えーるピア久留米市市民ギャラリー
第15回木村フォトセミナー写真展	10/22(日)・石橋文化センター共同ホール
ムジカソナーレ・アンサンブル第23回演奏会	11/5(日)・市役所くるみホール
ジュニア文芸大会(表彰式)	11/5(日)・久留米シティプラザ・ザ・グランドホール
第2回一日かぎりのオーケストラ	11/7(火)～12(日)・久留米市一番街多目的ギラリ
第29回南祥会書作家展	11/11(土)・日古神社
日古神社献茶(表千家・白流九州支部)(野点)	11/11(土)～12(日)・シティプラザCボックス
演劇公演「極め付け好色おせん」	11/12(日)・梅林寺
第71回久留米茶道連合会法要大茶会	11/12(日)・朝倉市総合市民センター
北筑後ブロック11文化団体古典芸能祭	11/15(水)～19(日)・久留米市一番街多目的ギラリ
篆刻展しなやかに、一步一歩	11/23(祝)・御井校区コミュニティセンター
第64回桃青忌俳句大会	11/25(土)～26(日)・寺町界隈・久留米市内
まちなか美術館 KURUME	12/3(日)・石橋文化センター共同ホール
第24回賢順記念全国箏曲コンクール	12/10(日)・久留米シティプラザ和室
裏千家・淡交会久留米支部第64回歳末助け合い茶会	12/17(日)・久留米シティプラザ・ザ・グランドホール
久留米合唱のついで(混合合唱)めめ市民コール第10回記念定期演奏会	12/24(日)・久留米シティプラザ・ザ・グランドホール
フジタバレエ研究所第33回バレエリサイタル	

【○芸術散策○行事のお知らせ】information RENBUN CALENDAR

平成30年 1月～7月

文推協ニユーイヤークンサート	1/8(月)・萃香園ホテル
久留米喜秀会演能公演	1/14(日)・久留米シティプラザ久留米座
華麗なるハロック・フルートとバリトンの調べ	1/19(金)・日本福音ルーテル久留米教会
連文役員新年会	1/27(土)・ホテルマリタール創世
久留米謡曲連盟謡曲大会	1/28(日)・久留米シティプラザ久留米座
久留米文学第64号	1/31(火)原稿締切
心象会展(大石紫光とそのグループ・水墨画)	3/13(火)～18(日)・久留米市一番街多目的ギラリ
茶を楽しむ会(江戸千家久留米不白会)	3/18(日)・坂本繁二郎生家
書作家展	3/21(水)～25(日)・久留米市美術館
青木繁旧居華道展(宣月流万年青会・中野松芳社中)	3/24(土)～25(日)・青木繁旧居
第65回けしけし祭	3/25(日)・順光寺・かぶと山
玉垂宮献茶(表千家・白流九州支部)(野点)	4/8(日)・玉垂宮
第53回文茶道部大茶会	4/15(日)・久留米シティプラザ
久留米文学第64号発行	5/1(火)発行
水天宮献茶(表千家・白流九州支部)(野点)	5/3(祝)・水天宮
連文水墨画部展	5/8(火)～13(日)・久留米市一番街多目的ギラリ
福永英子日本画展	5/16(水)～20(日)・久留米市美術館
第1回総合文化部門展	5/16(水)～20(日)・久留米市美術館
平成30年度連文定期総会・祝賀会	5/26(土)・ホテルマリタール創世
学校茶道合同茶会(裏千家・淡交会久留米支部)	6/10(日)
第1回諸石祥雲習作展(甲斐文・金文の世界を楽しむ)	6/12(火)～17(日)・久留米市一番街多目的ギラリ
第52回仲縄忌俳句大会	6/27(水)・遍照院
仲縄忌供茶(裏千家・淡交会久留米支部)	6/27(水)・遍照院
青木繁旧居生け花展示(宣月流万年青会・中野松芳社中)	通 年・青木繁旧居
J R久留米駅生け花展示(小原流・宣月流・嵯峨御流/毎週交代)	通 年・J R久留米駅構内

11月12日(日)に開催しました「北筑後ブロック古典芸能祭inあさくら」につきましては、何かとお世話をいただきありがとうございました。お陰様で盛会裏に無事終わることが出来ました。更に「北九州豪雨」への義援金並びにご祝儀を頂戴しまして誠にありがとうございました。甘木連合文化会 会長 合原朝幸

※昨年10月総合文化部松崎睦生氏より63,000円寄付を頂きました。

訃報(平成29年8月～12月) 謹んでご冥福をお祈り致します。

寺崎 桂彩(圓太さん) (書道部) 平成29年7月18日

夏井 恵庭(喜恵子さん) (華道部) 平成29年8月6日